（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ELEVAR亀岡 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年9月18日 | ～ | 令和8年10月3日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 4 | （回答者数） | 3 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年9月28日 | ～ | 令和8年10月3日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 5 | （回答者数） | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年10月17日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 支援プログラムや具体的な支援内容について、保護者様への説明を行い、連携しながら共に支援を進めていくことを大切にしています。支援内容は、お子さま一人ひとりの日々の実態や変化に合わせて随時見直しを行い、画一的・固定的な支援に陥ることのないよう、常に柔軟で最適なアプローチを心がけています。 | 支援にあたっては、日頃の様子や個性を深く理解している「専任の担当者」が中心となり、お子さまたちに合わせた活動内容を計画するようにしています。また、担当者の主観に偏らないよう、職員全体で内容の定期的な見直しや修正を重ね、常に客観的で最適な支援を提供できるよう努めているところです。 | ホームページやSNSを活用した、日々の支援の様子や支援グッズの積極的な発信を今後も継続してきます。<br>保護者の皆さまがご家庭で実践されている支援内容や工夫も取り入れながら、多様な視点や情報を幅広く集め、より豊かで充実した支援へとつなげていければと考えています。 |
| 2 | 支援を進めていく上で、保護者様との連携を大切な要素の一つとして意識しており、定期的な面談や、日々の助言・情報共有などを通じ、同じ方向を向いて歩めるような体制づくりを心がけています。多くの保護者様から共感や温かいお声をいただく機会もあり、日々の支援へのご理解や、ご協力をいただきやすい関係づくりに繋がっていければと考えています。 | 定期的な面談だけでなく、必要に応じて電話やLINE等による迅速な連絡体制を整え、いつでも密に連携できる環境づくりを心がけています。日頃から相談支援専門員とも情報共有を重ね、外部機関と一丸となって保護者の皆さまが安心できる支援を提供できるよう意識して取り組んでいます。 | 保護者様との連携の仕組みとして、現在はLINEと電話が中心となっているものの、細かいことや表情が伝わりにくい状況もあることから、今後はオンラインを活用した面談等も選択肢に取り入れることで、さらに連携を密にしていきたいと考えています。 |
| 3 | お子さまたちが安心して来所し、楽しみながら日々の活動に取り組めるよう、活動内容の検討や事前準備を心がけています。「次もまた来たい」という期待感を育み、高い活動意欲を持って主体的に参加できる環境をつくることが、より効果的な支援に繋がっていくのではないかと考えています。 | 祝日や長期休暇期間中には特別なイベントを開催し、日常とは少し違う体験や、普段は一歩を踏み出せないことにも挑戦できる場を設けています。こうした活動を通じて、子どもたちが「楽しかった」「できた」という成功体験を積み重ね、自信に繋げられるような機会の創出を目指しています。 | 恒例企画を継続しながらも、新たな経験が積めるよう多様な企画にも挑戦していければと考えています。今後は地域の人々との触れ合いや社会体験を通じて、お子さまたちの可能性をさらに広げ、より豊かで充実した支援へとつなげていきたいと考えています。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者様向けの学習会・交流会の開催や、ごきょうだいも含めたご家族全員で参加できるイベントの企画など、多角的な支援の実施がまだ限定的になりがちです。こうした家族支援を専門的かつ安全に展開していくために、さらなる専門性の追求や、事業所全体の研修体制の拡充を図っていく必要があると捉えています。 | 交流会や学習会等の開催時期の見通しを、計画的・継続的に進める体制を構築していき、これらをより多角的に企画・運営していくための、ノウハウの蓄積や更なるスキルアップの機会を作っていくことを推進してまいります。 | 職員の技術向上に向けた研修の充実を進めつつ、それと並行して保護者様とともに交流会や学習会を計画していくなど、お子さまの支援に向けて保護者様と一体となった仕組みづくりを少しずつ進めていければと考えています。 |
| 2 | 活動が事業所内に留まりがちな側面があるので、今後は地域のお子さまたちや高齢者の方々との交流も思案し、地域に根差した支援を考慮しています。また、直接の交流が難しい場面においては、ＩＣＴ機器の環境整備や導入を図り、物理的な制約を越えた多様な体験機会を創出していく方向で検討しています。 | これまでは事業所内での支援を中心に取り組んでまいりましたが、今後は近隣関係施設等との具体的な連携計画や、交流に向けた細かなアイデアを形にするプロセスを、段階的に企画・進行してまいります。 | 日々の支援の中に地域と触れ合えるような機会を少しずつ取り入れていければと考えています。さらに、今後は保護者様ともご無理のない範囲で一緒に参加できるような形を視野に入れながら、地域交流を意識した計画を進めてまいります。 |
| 3 | 各種対応マニュアルについては策定しているものの、保護者の皆さまへの周知や職員間での周知も考慮し、利用関係者を問わず誰もが直感的に理解できるような分かりやすい情報発信に努め、この取り組みを非常災害時の迅速な対応にも活かせる体制づくりへ繋げていきたいと考えています。 | 各種マニュアルの確認を日頃からよりスムーズに共有・実践できるような環境づくりや、安心安全な運営に向けた保護者様との情報共有・周知のあり方については、日々の運営の中で多様な視点を取り入れながら、より良い体制を整えていくプロセスにあると捉えています。 | HPやSNSを活用した発信、あるいはオンラインを用いた勉強会や保護者学習会などの機会を通じ、マニュアルや安全管理についての共有や、皆さまと一緒に安心安全を高め合えるような仕組みづくりを検討していければと考えています。 |

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援事業）

| 事業所名 | ＥＬＥＶＡＲ亀岡 |
|---|---|

公表日 令和8年10月24日

対象児童数 4　回収数 3

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 1 | 1 | | 1 | | スケジュールカードやコーナー分け、イラストの提示といった「わかりやすい構造化」の取り組みを、今後も継続し、さらにアップデートしてまいります。また、利用初期の保護者様へのご説明や内覧の際にも、「どのように構造化し、配慮しているか」をわかりやすくお伝えする機会を設けます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 2 | 1 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 2 | | | 1 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 2 | | | 1 | | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 2 | | | 1 | | |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 1 | | | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 3 | | | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 3 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 1 | 1 | | 1 | | ご家庭での関わり方のヒントや発達特性に関すること等、保護者様向けミニ講座、座談会を企画・ご案内していきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 2 | 1 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | | 1 | 1 | 1 | | 祝日イベント日や長期休暇等を利用した「ご家族・ご兄弟参加型イベント」を企画・実施します。 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 2 | 1 | | | | 相談の申し入れがあれば、可能な限り対応できる体制を整えています。また今後はオンラインでの実施も検討しています。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 3 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 1 | 1 | | 1 | | マニュアルを説明する機会はありませんが、避難場所や対応等のポイントについて、HPに掲載し周知できるようにしていきます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | | 2 | | 1 | | 避難訓練に加え、非常災害時の役割分担を含めた訓練も行っています。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | 3 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 2 | 1 | | | | 事故対応マニュアルを含め、報告・連絡・相談の徹底など、保護者連携、関係機関連携を進めています。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか 。 | 3 | | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 3 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 3 | | | | | |

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（児童発達支援事業）

| 事業所名 | ＥＬＥＶＡＲ亀岡 |
|---|---|

公表日　2026年10月24日　　回収数　5

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 2 | 視覚的な配慮や整理整頓された空間を心掛けている。 | 視覚化が少ない |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | | 物の置き場所など工夫・改善必要 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。 | 5 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 1 | 4 | 毎朝のミーティング、月に一度の合同会議を実施中。 | 個別ではできてますが、全体では話し合えていません |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 3 | | 外部評価を受けていません |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 1 | | 職員数の問題もあり、十分とは言えません |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。 | 5 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 2 | 毎朝のミーティングで申し送りを実施。 | 統一しきれていません |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | 1 | 担当が立案・児発管がチャック<br>担当と打ち合わせをし、適切なプログラムになるようにしている | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | 人員配置的に個別支援活動が難しい |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | 業務後の振り返り、次の日のミーティングで共有しています。 | 勤務時間的にその日のうちに出来ないこともある |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | | | |
| | 28 | （28～30は、センターのみ回答）<br>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | （31は、事業所のみ回答）<br>地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。 | 1 | 4 | 児童全員ではないが、年に数回地域の連携会議で事例検討会議を行っている | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | | 現状ではありませんが、今後、地域連携の観点から計画を進めていきたいと思います。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 4 | | 現状は実施できていませんが、今後、学習会や交流会等の計画や、オンラインを活用した相談を進めていく予定です。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。 | 5 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 5 | イベント時に保護者も参加できる機会を増やしていきたいと思います。 | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 1 | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 5 | | 地域との連携を図る機会が今後作っていければと思います。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 2 | 日々の活動の中に取り入れて実施、送迎時に活動報告していこうと思います。 | 家族への周知ができてないと思います |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 2 | 3 | BCPの見直しと、子供たちの活動踏まえて訓練の実施をしている状況です。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | 食事やおやつの提供をしていません | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 1 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 4 | 1 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 1 | | 仕組みはあるも、十分な動きが見れないので、今後の改善が必要です |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 4 | 1 | | |